

令和 9 年度介護報酬改定に向けた要望

～在宅ケアの最前線と最後の砦を担うホームヘルパーの専門性の発揮に向けて～

第265回社会保障審議会介護給付費分科会

全国ホームヘルパー協議会、日本ホームヘルパー協会

全国ホームヘルパー協議会、日本ホームヘルパー協会の要望

- 在宅ケアの最前線と最後の砦を担うホームヘルパーは、利用者の重度化防止、自立支援を重視し、質の高いサービスの提供を継続しています。
- 一方、令和6年度の介護報酬改定において訪問介護系サービスの基本報酬が引き下げられ、その後令和8年度の報酬改定が行われたものの、継続的な物価高騰や賃金上昇の影響により、全国の訪問介護事業所の経営環境は深刻な状況です。
- 住民が地域や自宅で安心して暮らし続けられるために、ホームヘルパーがその専門性を十分に発揮し、誇りをもって支援できるよう、令和9年度介護報酬改定にあたっては、以下の事項について要望いたします。

◆要望事項◆

1. ホームヘルパーが専門性を活かし、誇りを持って働き続けられるための基本報酬の引上げ
2. 全国どこに住んでいても、必要な介護サービスを受けられる地域のサービス基盤の充実
3. 自立支援・重度化防止に資する総合事業の拡充

1. ホームヘルパーが専門を生かし、誇りを持って働き続けられるための基本報酬の引上げ

- ホームヘルパーは、在宅ケアの最前線と最後の砦を担う重要な専門職であり、住民が住み慣れた自宅や地域で安心して暮らし続けるために、その役割は不可欠です。
- しかし、令和6年度の介護報酬改定において、訪問介護系サービスのみ基本報酬が引き下げられたことを受け、訪問介護事業所の閉鎖や倒産が全国各地で相次いでおり、必要な訪問介護サービスを提供できない地域も生じるなど、地域における介護基盤そのものが揺らいでいます。特に、地域を面的に支える訪問介護事業所は、集合住宅等を中心にサービス提供をしている事業所とは移動時間・経費を含め事業構造が異なります。そうした違いも適切に把握したうえで、安定してサービス提供を継続できる報酬体系とすることが必要です。
- また、さまざまな努力のなかで事業継続している事業所においても、令和8年度報酬改定後も、ホームヘルパーの賃金・待遇の継続的な改善と人材確保が困難な状況にあります。全産業における賃上げや物価高騰に加え、ホームヘルパーの高齢化等、社会を取り巻く環境の変化に伴い負担も増すなか、ホームヘルパーは困難・不安を抱えながら、利用者の生活を支えています。
- 在宅介護の基盤を支えるホームヘルパーの専門性と役割を正に評価し、安心して働き続けられる環境を確保するため、基本報酬の引上げと、医療的ケアや看取り、認知症等への対応にかかる報酬の拡充と体系の抜本的な見直しをお願いいたします。

参照 ● 参考資料①訪問介護事業所の経営状況
参考資料②ホームヘルパーの働く環境に関する課題

2. 全国どこに住んでいても、必要な介護サービスを受けられる地域のサービス基盤の充実

- 利用者が望む地域で安心して暮らし続けるためには、訪問介護をはじめとする必要な在宅福祉サービスの提供体制の維持・確保が不可欠です。
- しかし、特に中山間地域、人口減少地域、豪雪地域、離島等では、人材不足に加え、移動時間や移動経費などの負担が大きく、在宅生活を継続したい住民がいてもサービスの提供を維持することが困難な状況が発生しています。
- そのため、基本報酬の引上げによる訪問介護事業所の経営基盤の強化に加え、中山間地域等の実情を踏まえた報酬上の評価など、地域に根ざした訪問介護事業所が継続的に運営できる体制を確保し、地域のサービス基盤の安定化を図るための支援を求めます。

参照☛参考資料③中山間地域、豪雪地域、離島等における
訪問介護事業所およびホームヘルパーの現状と課題

3. 自立支援・重度化防止に資する総合事業の拡充

- ホームヘルパーによるサービス提供は、単なる家事支援ではなく、利用者の心身の状態や生活状況を総合的に捉え、その状態や環境に応じて自立支援・重度化防止につなげる専門的な支援です。 住み慣れた在宅生活を継続するためにも、こうした専門的な支援を早期から適切に提供することが重要です。
- 一方、介護予防・日常生活支援総合事業では、住民主体のサービス等、多様な担い手によるサービス提供体制が十分に整備されておらず、認知症ケアをはじめ専門的な知識・技術を持つホームヘルパーによる支援が十分に確保されていない現状があります。
- 地域の支え合いや多様な担い手による生活支援を充実させていくことは重要ですが、それらは専門職による支援の単なる代替となるものではありません。利用者の状態や生活課題に応じて、地域の支え合いによる支援と専門職による支援を適切に選択し、組み合わせる仕組みとするためにも、ホームヘルパーによる専門的なサービスを提供できる仕組みを確保するとともに、その専門性に見合った適切な評価を行い、自立支援・重度化防止につながる総合事業の充実をお願いします。
- また、ホームヘルパーが自立支援・重度化防止に向けた専門性を十分に発揮できるよう、介護支援専門員、地域包括支援センター、市町村・保険者等の関係者に改めて周知いただき、正當に評価されるよう国からの強力な支援をお願いいたします。

- 最後に、私たちは、在宅ケアの最前線と最後の砦を担うホームヘルパーの専門性や社会的役割、仕事の魅力を広く発信し、ホームヘルパーが誇りを持って働き続けられる環境づくりに取り組んでいます。
- しかし、ホームヘルパーの有効求人倍率は他職種と比べても著しく高く、人材確保は極めて深刻な状況にあります。訪問介護は、利用者が住み慣れた自宅で暮らし続けるために不可欠なサービスであり、その社会的役割や仕事の魅力を社会全体に正しく伝えていくことが急務です。そのためには、私たちの取り組みに加え、国による継続的な後押しが必要です。
- 具体的には、ハローワーク、福祉人材センター、介護労働安定センター等の関係機関との連携を一層推進するとともに、初任者研修等を受講しやすい環境の整備や、研修中の訪問介護サービスへの同行実習の必須化など、訪問介護に触れる機会を拡充する取り組みが必要です。また、教育現場をはじめ幅広い機会を通じて、訪問介護の専門性や魅力を国民全体に広く発信していただきますよう、引き続きご支援をお願いいたします。

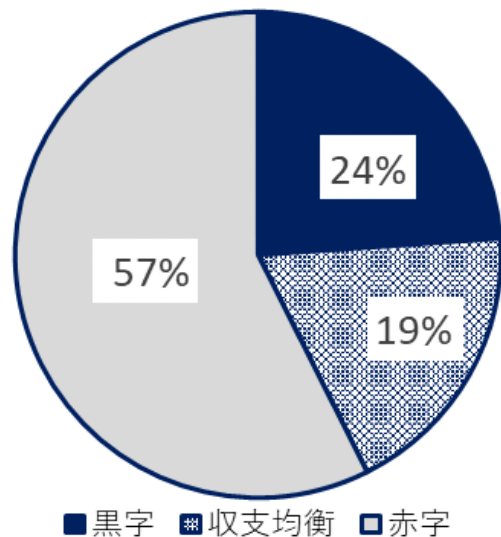
(参考資料) アンケートの結果から見える訪問介護事業所およびホームヘルパーの現状

◆令和8年度 全国ホームヘルパー協議会、日本ホームヘルパー協会 会員アンケート結果（概要）

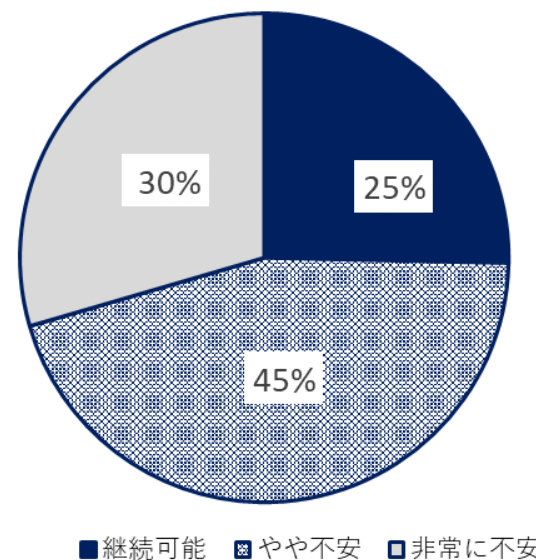
- ・実施期間：令和8年7月17日～令和8年7月31日
- ・対 象：全国ホームヘルパー協議会会員（1,763名）、日本ホームヘルパー協会会員（1,000名）
- ・実施方法：google formにより実施
- ・回 答 数：288件

①訪問介護事業所の経営状況

令和7年度の訪問介護事業の収支状況



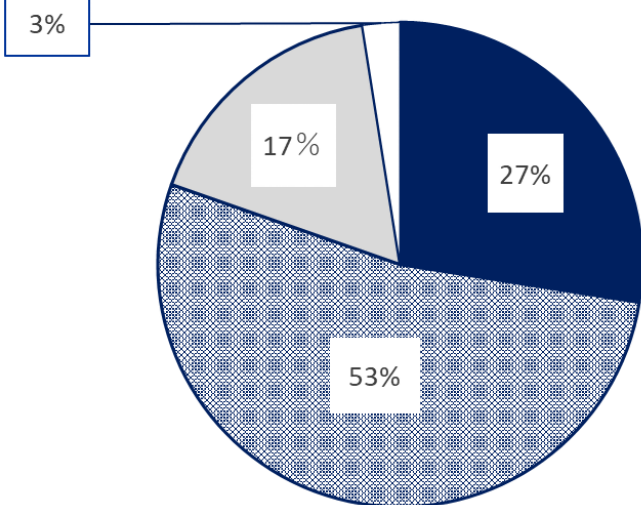
所属する事業所のサービス提供の継続について、
どのように感じているか



- 令和7年度の訪問介護事業の収支状況について、全体の約60%が赤字。
- このような状況のなか、事業所のサービス提供の継続について、75%が「非常に不安」、「やや不安」と回答。ホームヘルパーは不安を抱えながら、利用者の生活を支えている。

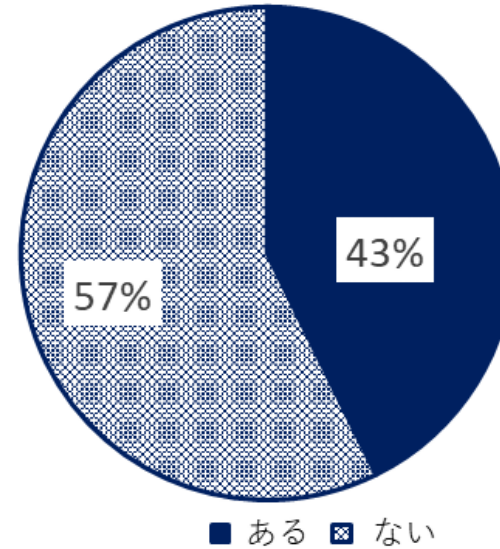
②ホームヘルパーの働く環境に関する課題

事業所における人材不足について



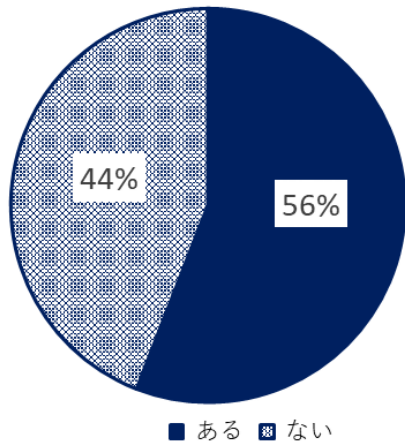
- かなり不足している：既存利用者へのサービス提供にも支障が生じている
- ▨ やや不足している：既存利用者へのサービス提供はできているが、新規利用者の受入れを制限している
- あまり不足していない：人材不足は感じるものの、サービス提供や新規受入れへの影響はない
- 不足していない

近隣事業所の休止・廃止等に伴う影響



■ ある ▨ ない

利用者・家族からのハラスメントの有無(過去1年間)



■ ある ▨ ない

- 事業所の80%が人材不足（「かなり不足している」、「やや不足している」）。
- さらに、近隣事業所の休止・廃止等に伴う影響が、43%で生じている。その影響として40%以上が「希望する依頼を断らざるを得なかった」と回答するなど、地域において必要なサービスを提供できない状況も生じている。
- また、全体の56%が過去1年間において利用者・家族からのハラスメントを受けたことがあると回答。ホームヘルパーが、働く環境面でも不安を抱えており、さらなる業務負担軽減やICT・DX化の推進が必要。

③中山間地域、豪雪地域、離島等における訪問介護事業所およびホームヘルパーの現状と課題

➤ 中山間地域等へのサービス提供における課題について、主に以下の点が挙げられている。

＜移動時間や移動距離にかかる負担について＞

- ・ 利用者宅が点在しており、移動時間や移動距離が長く、訪問件数が限られる。
- ・ 移動時間、移動距離に伴う人件費、ガソリン代等の負担が大きい。
- ・ 移動時間がサービス提供時間を上回ることもあり、採算性が低い。
- ・ 採算性から他の事業所が参入しないため、地域のサービスが不足。新規の申し込みを断らざるを得ない場合がある。
- ・ 天候、土砂崩れ等により交通規制が発生し、より時間がかかる場合がある。

＜訪問にかかる安全面の課題について＞

- ・ 豪雪地域は、積雪や悪天候時の訪問準備や移動負担が大きい。
- ・ スリップの危険もあるため、2人で移動することもあり、効率的なサービス提供が困難。
- ・ ホームヘルパーの高齢化により、遠距離・冬季訪問への対応が難しく、限られた人員で訪問せざるを得ない。
- ・ 整備されていない道路も多く、運転に不安を感じるホームヘルパーが多い。

④総合事業に関する課題

➤ 総合事業を実施してるなかでの課題について、主に以下の点が挙げられている。

- ・ 報酬単価が低いため撤退する事業所も多く、そのために実施している事業所に依頼が集中するが、収入に結びつかない。
- ・ 利用者のキャンセルが多く、ホームヘルパーのモチベーションの低下にもつながっている。